

2022 年度事業報告書

I. 事業の状況

研究成果公開のため、『英文学研究』3冊を予定通り刊行した。巻号および発行日は、和文号第 99 巻（2022 年 12 月 1 日）、支部統合号第 15 巻（2023 年 1 月 20 日）、English Number 64（2023 年 3 月 1 日）。総頁数は、和文号 158 頁、支部統合号 301 頁、英文号 241 頁、合計 700 頁（前年度 559 頁）である。

英文学、英語学、英語教育に関する研究を普及する事業として、日本英文学会第 94 回大会が、5 月 21 日（土）～22 日（日）にかけ、オンライン会議システム（Zoom）を用いた大会として実施され、12 のシンポジア、1 つの特別シンポジウム、29 の研究発表、8 つの招待発表が配信された。当初は同志社大学で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、開催形態を変更した。また、この大会における研究発表、シンポジア、特別講演の概要を収めた『第 94 回大会 Proceedings』を、2022 年 7 月に日本英文学会ウェブサイト上で刊行した。

全国 7 支部では、2022 年度支部大会の多くが 3 年ぶりの対面での開催となった（北海道支部、北海道大学 [10 月 30 日（日）]、東北支部、岩手大学 [12 月 10 日（土）]、関東支部、夏季大会、青山学院大学青山キャンパス [6 月 18 日（土）]、秋季大会、中央大学市ヶ谷田町キャンパス [10 月 30 日（日）]、中部支部、Zoom によるオンライン開催 [10 月 22 日（土）]、関西支部、甲南大学 [12 月 18 日（日）]、中国四国支部、Zoom によるオンライン開催 [10 月 22 日（土）]、九州支部、西南学院大学 [10 月 22 日（土）、23 日（日）]）。『支部大会資料統合版』は 2022 年 3 月理事会での 2022 年以降の刊行停止の決定を受け、各支部および本部のウェブサイトにて各支部大会資料を掲載するのみとなった。これまで『支部大会資料統合版』の巻末に掲載していた「ELSJ Newsletter」（今回は No. 140）については独立した冊子として 9 月に会員に郵送した。

加えて、2022 年 4 月 22 日（土）、日本シェイクスピア協会との共催でシェイクスピア祭を慶應義塾大学日吉キャンパスにて、対面およびウェビナー配信にて開催した。

以上に関する報告および案内のため、本部および各支部事務局は Newsletter を年 2 回、発行し、上記のとおり 1 つは独立した冊子として刊行し（2022 年 9 月 15 日）、もう 1 つは『第 95 回大会資料』（2023 年 3 月 10 日刊行）に掲載した。なお『第 95 回大会資料』の総頁数は 69 頁（前年度 73 頁）である。

II. 処務の概要

1. 役員などに関する事項

2022 年度末現在の役員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	服部典之	2021年5月21日	-	なし	関西外国語大学教授	-
理事	瀬名波栄潤	2021年5月21日	-	なし	北海道大学教授	-
同	川田潤	2021年5月21日	-	なし	福島大学教授	-
同	原田範行	2021年5月21日	-	なし	慶應義塾大学教授	-
同	阿部公彦	2021年5月21日	-	なし	東京大学教授	-
同	奥聡一郎	2022年5月14日	-	なし	関東学院大学教授	-
同	滝川睦	2021年5月21日	-	なし	名古屋大学教授	-
同	服部典之	2021年5月21日	-	なし	関西外国語大学教授	-
同	竹村はるみ	2022年5月14日	-	なし	立命館大学教授	-
同	今林修	2021年5月21日	-	なし	広島大学教授	-
同	鶴飼信光	2021年5月21日	-	なし	九州大学教授	-
監事	丸山修	2021年5月21日	-	なし	静岡大学教授	-
同	横内一雄	2021年5月21日	-	なし	関西学院大学教授	-

2022 年度末現在の評議員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
評議員	松井美穂	2021年5月21日	-	なし	札幌市立大学教授	-
同	大貫隆史	2021年5月21日	-	なし	東北大学准教授	-
同	諏訪部浩一	2023年2月28日	-	なし	東京大学准教授	-
同	山本卓	2021年5月21日	-	なし	金沢大学教授	-
同	山田雄三	2022年6月25日	-	なし	大阪大学教授	-
同	水野和穂	2021年5月21日	-	なし	広島修道大学教授	-
同	西岡宣明	2021年5月21日	-	なし	九州大学教授	-

2. 事務局員に関する事項

2022 年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	中村仁紀	2022年4月1日	事務一般	給与	-
事務局長補佐	田村斉敏	2022年4月1日	事務一般	給与	-
事務局長補佐	侘美真理	2021年4月1日	経理	給与	
大会準備担当書記	奥畑豊	2022年4月1日	大会準備	給与	-

編集担当書記	馬淵恵里	2021年4月1日	編集	給与	-
オンライン担当	永嶋友	2021年4月1日	学会 HP 管理等	謝礼	

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会月日時	議事事項	会議の結果
2022年5月14日14時00分から15時00分	1. 2021年度事業報告及び決算の承認に関する件 2. 2021年度編集委員会及び大会準備委員会の活動報告 3. 2021年度決算報告 4. 第95回全国大会開催校決定の件 5. 第96回全国大会開催支部確認の件 6. 大会開催支部のローテーションに関する件 7. 顧問設置に関する件 8. ハラスメント防止規定制定のためのワーキンググループと起草委員会の設立に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
2023年1月7日17時00分から19時00分	1. 編集委員会の増員措置に関する件 2. 事務職員の後任人事に関する件 3. 事務局員（オンライン担当）の給与化に関する件 4. 全国大会開催支部ローテーションに関する件 5. 評議員選定委員会の外部委員の選出に関する件	承認 承認 承認 承認 承認
2023年3月22日15時00分から16時00分	1. 2023年度事業計画の承認に関する件 2. 2023年度収支予算の承認に関する件 3. 2023年度事務局体制に関する件 4. 英文学会事務局職員体制に関する件 5. ハラスメント防止ガイドラインの件 6. 顧問任命の件	承認 承認 承認 承認 承認 承認一部 承認 承認

(2) 評議員会

開会月日時	議事事項	会議の結果
2022年5月14日15時00分から16時00分	1. 2021年度事業報告および決算の承認に関する件 2. 理事増員に関する件	承認 承認
2023年3月24日15時00分から16時00分	1. 2023年度事業計画の承認に関する件 2. 2023年度収支予算の承認に関する件 3. 2023年度事務局体制に関する件 4. 英文学会事務局職員体制に関する件 5. ハラスメント防止ガイドラインの件 6. 顧問任命の件 7. 次期理事体制に関する件	承認 承認 承認 承認 承認一部 承認 承認 承認

4. 許可、認可、承認、証明などに関する事項

申請月日	申請事項	許可等月日	備考
なし			

5. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の概要
なし		

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
なし				-

7. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
なし		

8. その他の重要事項

特になし

9. 会員数（2023年3月末現在）

個人会員	2,719名（うち終身会員114名）	（前年度末 2,814名）	95名減
協賛会員	33名	（前年度末 32名）	1名増
総計	2,752名	（前年度末 2,846名）	94名減

2022年度編集委員会活動報告書

(1) 委員会開催日

通常委員会（オンライン会議）：2022年5月14日、6月18日、10月15日

(2) 人事

1. 片山亜紀、栗山智成、小町谷尚子、永富友海（イギリス文学分野）、難波江仁美、宮本敬子（アメリカ文学分野）、金澤俊吾、前田雅子（英語学分野）の以上8氏が、2023年3月末日をもって任期満了となり退任となった。後任8名の新委員を選出するため、第3回編集委員会にて選挙を行い、就任の依頼を行った。その結果、小林潤司、垂井泰子、中和彩子、冬木ひろみ（イギリス文学分野）、石原剛、高野泰志（アメリカ文学分野）、大谷直輝、小田博宗（英語学分野）の8氏の承諾を得た。また、(7)で後述するアメリカ文学分野編集委員の増員措置にともない、今年度はさらに、結城正美、吉田恭子の2氏

も選出され、就任の承諾を得た。新委員の任期は、2023年4月1日より3年間である。

2. 任期途中で退任の申し出のあった長谷川信子編集委員会顧問に代わり、2022年9月に奥聡氏（北海道大学）が新たに着任した。途中交代のため、任期は2024年3月末日までとする。

3. 2023年度 委員長：松本靖彦（イギリス文学分野）
副委員長：武田将明（イギリス文学分野）
大串尚代（アメリカ文学分野）
前川貴史（英語学分野）

(3) 『英文学研究』発行状況

第99巻 (2022年12月1日発行) 158ページ

英文号64(2023) (2023年3月1日発行) 241ページ

総ページ数 399ページ

(前年度298ページ、前々年度283ページ)

(4) 2022年度『英文学研究』論文審査の状況 (2021年10月15日～2022年10月14日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	11(6-5)	6(1-5)	5(5-0)	0(0-0)
米文学	17(5-12)	3(1-2)	14(4-10)	0(0-0)
英語学	5(0-5)	1(0-1)	4(0-4)	0(0-0)
計	33(11-22)	10(2-8)	23(9-14)	0(0-0)
和文の割合	33%	20%		

カッコは和文—英文比

(参考)

2021年度『英文学研究』論文審査の状況 (2020年10月15日～2021年10月14日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	13(6-7)	2(1-1)	11(5-6)	0(0-0)
米文学	20(9-11)	1(0-1)	19(9-10)	0(0-0)
英語学	6(2-4)	2(1-1)	4(1-3)	0(0-0)
計	39(17-22)	5(2-3)	34(15-19)	0(0-0)
和文の割合	44%	40%		

カッコは和文—英文比

2020年度『英文学研究』論文審査の状況（2019年10月15日～2020年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	8(2-6)	0(0-0)	8(2-6)	0(0-0)
米文学	21(9-12)	3(1-2)	18(8-10)	0(0-0)
英語学	1(1-0)	0(0-0)	1(1-0)	0(0-0)
計	30(12-18)	3(1-2)	27(11-16)	0(0-0)
和文の割合	40%	33%		

カッコは和文—英文比

2019年度『英文学研究』論文審査の状況（2018年10月15日～2021年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	15(5-10)	2(1-1)	13(4-9)	0(0-0)
米文学	17(7-10)	2(0-2)*	16(7-9)	0(0-0)
英語学	4(2-2)	2(0-2)	2(2-0)	0(0-0)
計	36(14-22)	6(1-5)	31(13-18)	0(0-0)
和文の割合	38%	16%		

カッコは和文—英文比

*採用された英語論文のうち1編は、2018年度に審査の結果採用の決定がなされたものの、連絡事故のために2018年度の『英文学研究』に掲載漏れとなり、2019年度の『英文学研究』に収録されたもの。投稿論文数より採用・不採用の論文数が1つ多いのはそのためである。

(5) 第45回日本英文学会新人賞の審査結果

応募論文総数：英文学2編 米文学3編 英語学2編 計7編 （前年度比 3編増）

第1次審査通過論文数：1編

新人賞小委員会 7月9日

受賞論文：該当論文なし

佳作論文：該当論文なし

(6) 2022年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	13(6-7)	13(6-7)	0-0	0(0-0)
米文学	12(10-2)	12(10-2)	0-0	0(0-0)
英/米文学	4(4-0)	4(4-0)	0-0	0(0-0)
英語学	7(4-3)	5(2-3)	2-0	0(0-0)
計	36(24-12)	34(22-12)	2-0	0(0-0)
和文執筆の割合	60% (21/35)	59% (20/34)		
和文号書評に占める 英文書評の割合	9% (2/22)	9% (2/22)		

カッコ内は和文号—英文号比

(参考)

2021 年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	13(13-0)	13(13-0)	0-0	0(0-0)
米文学	13(12-1)	13(12-1)	0-0	0(0-0)
英/米文学	0 (0-0)	0(0-0)	0-0	0(0-0)
英語学	9 (8-1)	9(8-1)	0-0	0(0-0)
計	35(33-2)	35(33-2)	0-0	0(0-0)
和文執筆の割合	83% (29/35)	83% (29/35)		
和文号書評に占める 英文書評の割合	12% (4/33)	12% (4/33)		

カッコ内は和文号—英文号比

(7) アメリカ文学分野の増員措置について

近年、アメリカ文学分野の投稿論文数および新人賞応募論文数が著しく増加していることを受けて、2021 年度より当分野の編集委員を 1 名増員し合計 8 名体制となった。しかしながら、それ以降も依然としてアメリカ文学分野編集委員の負担が他分野に比して過重になっていることから、第 3 回編集委員会において、アメリカ文学分野の委員数を 3 名増員することが審議・承認され、1 月に開催された臨時理事会にてこの増員措置が承認された。今後の改選委員数の均衡を考慮し、2023 年度より 2 名、翌 2024 年度より 1 名を増員する。

以上

2022 年度大会準備委員会活動報告書

1. 2022 年 4 月 15 日（金）から 4 月 22 日（金） 後任選挙オンライン投票期間
2022 年 4 月 22 日（金） 開票作業ならびに結果報告

任期満了委員の後任選挙結果

英文学分野	（金山亮太委員の後任）	大久保讓氏（専修大学）
英文学分野	（米谷郁子委員の後任）	内丸公平氏（大阪公立大学）
英文学分野	（中島渉委員の後任）	志渡岡理恵氏（実践女子大学）
米文学分野	（山本裕子委員の後任）	小笠原亜衣氏（関西学院大学）

英語学分野（菅野悟委員の後任） 戸塚将氏（旭川医科大学）¹
英語教育分野（深谷素子委員の後任） 北和丈氏（東京理科大学）

2. 2022年7月2日（土） 第95回大会第1回準備委員会

[Zoomを使ったオンライン会議]

- 01) 第94回大会の総括
- 02) アンケート結果の共有について
- 03) 第95回大会オンライン開催の場合の改善案
- 04) 新任大会準備委員紹介
- 05) 副委員長選出
- 06) 大会準備委員後任選挙のオンライン投票について
- 07) 分野外講師謝金に関する確認
- 08) シンポジウム企画の検討
- 09) 招待発表について
- 10) 特別講演／特別シンポジウムについて
- 11) 発表応募数増加のための施策案
- 12) 大会研究発表応募規定の改定について
- 13) 第2回大会準備委員会の開催日時について
- 14) 第95回大会の開催形態について
- 15) その他

3. 2022年9月10日（土）から9月21日（水） 第95回大会仮想大会準備委員会

- 01) 第1回大会準備委員会議事録（案）の確定
- 02) シンポジウム企画および日程決定
- 03) 研究発表応募査読者決定の日付決定
- 04) 招待発表講師の決定
- 05) 第95回大会登壇者への依頼状の確認

4. 2022年11月26日（土） 第95回大会第2回準備委員会

[Zoomを使ったオンライン会議]

- 01) 仮想大会準備委員会にて決定したシンポジウムと招待発表の確認
- 02) 第95回全国大会研究発表査読結果の審議
- 03) ハイフレックス大会の開催について

¹ 2023年4月より、宮城教育大学に所属変更。

- 04) 研究発表・シンポジウム各室担当者の決定
 05) 研究発表者の組み合わせと司会者案の検討
 06) その他

過去5年間の研究発表応募採択状況

(複数人による共同発表者は1名と計算。カッコ内の数字は招待発表を合わせたもの。81回大会分以降は、カリブ海文学、カナダ文学、アイルランド・日本の比較文学についての研究発表の応募を広域英語圏文学として分類した。)

採択数／応募数

	95回大会 関東学院大学 COVID-19の影響により 対面とオンラインのハイフレックス 大会として開催	94回大会 当初は同志社大学で開催予定だったがCOVID-19の影響により オンライン大会に変更	93回大会 当初は早稲田大学で開催予定だったがCOVID-19の影響によりオン ライン大会に変更	92回大会 当初は琉球大学で開催予定だったが COVID-19の影響により ウェブカンファレンス大会に変更	91回大会 安田女子大学
英文学 [古英語・ 中世は内数]	12(17)/14(19) [古英語 0(0)/0(0)] [中世 0(1)/0(1)]	15(20)/18(23) [古英語 2(2)/2(2)] [中世 1(2)/1(2)]	12(17)/14(19) [古英語 1(1)/1(1)] [中世 1(2)/1(2)]	17(22)/21(26) [中世 0(1)/0(1)]	9(14)/14(19) [中世 0(1)/0(1)]
米文学	7(8)/7(8)	5(6)/5(6)	5(6)/5(6)	5(6)/5(6)	6(7)/8(9)
広域英語圏文学	0/0	0/0	0/0	1/2	0/0
英語学	6(7)/6(7)	8(9)/8(9)	4(5)/4(5)	6(7)/8(9)	5(6)/6(7)
英語教育学	0(1)/0(1)	1(2)/1(2)	0(1)/1(2)	3(4)/3(4)	1(2)/1(2)
計	25(33)/27(35)	29(37)/32(40)	21(29)/24(32)	32(40)/39(47)	21(29)/29(37)

大会準備委員 (五十音順)

上野 葉子 内丸 公平 大久保 譲 大野 英志
 小笠原 亜衣 北 和 丈 久米 祐介 小林 宜子
 笹川 渉 志渡岡 理恵 菅野 素子 田代 尚路
 戸塚 将 中村 善雄 那須 雅子 松本 朗
 吉田 幸治

開催校委員 (五十音順)

奥 聡一郎 児玉 晃二 中村 友紀 萩原 美津

長谷川 裕 一 原 田 祐 貨 深 津 勇 仁 福 圓 容 子
古 谷 裕 美

支部委員（関東支部・五十音順）

伊 澤 高 志（立正大学）	石 川 大 智（慶應義塾大学）
久 世 恭 子（東洋大学）	佐 藤 和 哉（日本女子大学）
佐 藤 光 重（慶應義塾大学）	西 野 方 子（東京理科大学）
古 屋 耕 平（青山学院大学）	

以上

2022 年度事業報告付属明細書

該当事項なし。

以上